

金融計算機
ポケットFP

操作説明書

(監修) 株式会社近代セールス社
(開発) 株式会社テクノリード

このたびは、「ポケットFP」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

「ポケットFP」を正しくお使いいただくために、この操作説明書をよくお読みください。

この操作説明書は、同梱のシャープ取扱説明書[保証書付]といっしょに大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや具合の悪いことが生じたとき、きっとお役に立つことと思います。

ご注意・お願い

- 本機に搭載されているソフトは十分注意して開発されておりますが、万一ご不審な点やお気づきのことがありましたら、下記宛ご連絡ください。
- 本機に搭載されているソフトを運用した結果生じる影響や運用したことによる金銭上の損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 操作説明書およびソフトメニューは予告なく追加・変更・削除する場合があります。

[監修] (株) **近代セールス社**

〒164-0011 東京都中野区中央1-13-9 TEL 03-3366-0651

[開発] (株) **テクノリード**

目 次

《ご購入時の設定》《電池交換のしかた》	1, 2
《操作の手順》《新規・借り換え諸費用計算基準》	3, 4
《操作事例》	
◆ 元利均等返済額と残債・諸費用計算	6
◆ 元利均等返済額（ボーナス月加算額指示）	8
◆ 年別利息残高計算	9
◆ 固定金利特約型返済額計算	10
◆ 返済額からの借入限度額計算	11
◆ 年収からの借入限度額計算	12
◆ 返済期間逆算	13
◆ 元利均等償還内訳	14
◆ 借り換え計算（償還予定表がある場合）、（償還予定表がない場合）	15, 16
◆ 繰り上げ返済計算	18
◆ フラット 35・50 返済額	19
◆ 住宅金融公庫返済額計算	20
◆ 財形融資返済額計算	21
◆ つなぎ融資利息（日割り利息）計算	22
◆ 複数ローン返済額合算処理	23
◆ 元利据置返済額計算 ◆ 元金据置返済額計算	24, 25
◆ 元金均等返済額計算 ◆ 減価償却費計算	26, 27
◆ 実効金利計算	28
◆ ワンルームマンション投資シミュレーション	29
◆ 相続税計算 ◆ 贈与税計算	32, 33
◆ 譲渡所得税計算 ◆ 退職所得税計算	34, 35
◆ 不動産取得税計算 ◆ 登録免許税計算	36, 37
◆ 複利計算 [受取元利金]（終価係数） [預入元金]（現価係数）	38, 39
[金利逆算] [期間逆算]	40
◆ 複利年金計算 [積立額]（減債基金係数） [年金額]（資本回収係数）	41
[受取元利金]（年金終価係数） [預入元金]（年金現価係数）	42
◆ 相続財産完全防衛額計算	43
◆ 公的年金使用上の留意点	44
◆ 国民年金計算 ◆ 部分年金・老齢厚生年金計算	45, 46
◆ 在職老齢年金計算 ◆ 高年齢雇用継続給付計算	48, 49
◆ 度量衡換算	50
◆ アドオン⇔実質年率換算	51
◆ バイオリズム調べ	52
◆ 定数処理 年間元利返済額の割合変更 ローン手数料変更	53
保証料変更 保証料確認	54
支給限度額 バイオリズム用誕生日 答表示時ビーブ音	55
◆ その他（制度改正や新規受付がなく近い将来削除予定のメニュー）	
公庫併貸年金返済額計算 協会転貸年金返済額計算	56, 57

本機を安全に正しくお使いいただくために、同梱のシャープ取扱説明書（保証書付）をお読みください。但し、「ポケットFP」では数字以外の文字入力はありませんので、シャープ取扱説明書14頁の「文字の入力のしかた」は読む必要がありません。

この操作説明書は、「ポケットFP」の各メニューについて、事例をあげそのキー操作を記載する方式をとっています。従って大半が画面表示とキー操作になりますが、本書上の画面表示については紙幅の都合上差し支えない範囲で簡略化しているため、実際の画面とは異なります。予めご了承ください。

《ご購入時の設定》

ON/OFF を押すと電源が入り『ポケットFP』の初期画面になります。

ENTER を押して電卓表示（電卓モード）にして、**設定** を押してください。

* 設定メニュー *

1. キー入力音設定 : ON
2. バックライト設定 : 15 秒
3. 時刻設定
****年**月**日 (*) ** : **

① キー入力音設定

キーを押したときに音を鳴らすかどうかの切り替えです。

1 が白抜きの選択になっていることを確認し **ENTER** を押してキー入力音設定画面にします。□ □ で、ON OFFをきりかえます。 **YES** を押して決定します。
キー操作は一定の間隔をあげないとキー入力音がしても、全桁入力されない場合がありますのでご注意ください。

② 【V930のみ】バックライト設定

・で2 バックライト設定を選択し **ENTER** を押してバックライト設定画面にします。数値キーで点灯時間を入力します。 **YES** を押して決定します。

③ 時刻設定

・で3 時刻設定を選択し **ENTER** を押して時刻設定画面にします。数値キーで日付、時刻を入力します。 **YES** を押して決定します。

《電池交換のしかた》

V 930⇒単 4 形アルカリ乾電池<LR03> 2本

V 910⇒単 3 形アルカリ乾電池<LR6> 1 本

本体の乾電池が消耗し、画面右下の **BATT** シンボルが点灯したら

下記の手順で速やかに新しい電池と交換してください。

① **ON/OFF** を押して電源を切ってから本体裏面の電池ぶたを取り外します。

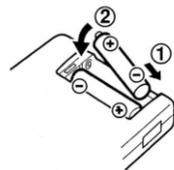
V910の場合は電池ぶたの右にあるつめを「解除」・側にして電池ぶたを取り外してください。「解除」・側にしないと電池ぶたは取り外せません。

② 【V930のみ】電池押さえを取り外します。

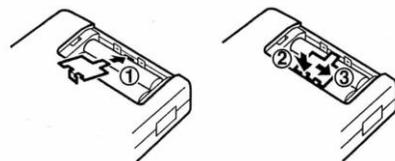
電池押さえを矢印①の方向にずらして、上(矢印②)に取り外してください。



- ③ 消耗した電池を取り外し新しい電池を取り付けてください。
V910の場合電池は1本です。



- ④ 【V930のみ】電池押さえを取り付けてください。



- ⑤ 電池ぶたを取り付けます。電池ぶたを取り付けず
放置すると電池が消耗します。

V910の場合は電池ぶたをしたら必ず電池ぶたの右にあるつめを「ロック」・側にしてください。「ロック」・側にしないと電源は入りません。

- ⑥ **ON/OFF** を押して電源が入ることを確認してください。
万一電源が入らない場合は、裏ページに記載の《異常が発生した場合の処理》
をしてください。
- ⑦ 電池交換をすると**F5** 36の定数処理で設定した内容は初期化されます。
もう一度設定してください。

《操作の手順》

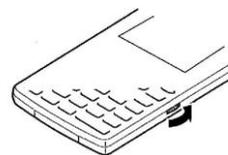
① 起動

ON/OFF を押すと電源が入り『ポケットFP』の
初期画面になります。

オートパワーオフ機能で電源が切れた後、**ON/OFF**
を押すと電源が切れる直前状態に復帰します。

※ 初期画面の上段4桁の数字はプログラム更新年月です。
初期画面で**ENTER**のみ押すと電卓になります。

(表示濃度の調整)
表示が見やすいように表示
濃度調整つまみを回して調
整してください。
矢印方向は濃く、逆方向は
薄くなります。



② メニュー呼び出し

1) ダイレクト呼び出し

初期画面で1~36のメニュー番号と、**ENTER** を押すと
各メニューの入力画面が直接呼び出されます。

2) プログラムスタートキーからの呼び出し

F1~**F5** を押すと、各々のキーに割り振られているメニューが表示されます。

割り振られたメニュー番号と**ENTER** を押すと入力画面に移ります。

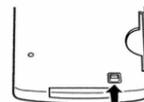
他のメニューに移る場合は、**F1**~**F5** を押してください。

※ 定数処理以外は入力途中で他のメニューに移っても構いません。

※ 操作事例は、2)のプログラムスタートキーからの呼び出しで説明しています。

※ メニューが表示されている画面で**ENTER**のみ押すと電卓になります。

本体裏側のカードロック
スイッチが「解除」側にな
っているときは電源が入
りません。



③ 入力処理

最初の入力項目に「？」が表示されます。所定の数値を入力した後 **ENTER** を押すと次の入力項目へ「？」が移動します。以下順に入力してください。

同じメニューを続けて選択したときは、原則として直前の入力内容が表示されます。

(借り換え計算等一部例外有り)

変更する必要がない項目は、**ENTER** のみで表示の数値が入力されます。

※他のメニューを実行すると「年利率」以外の項目はすべてゼロクリアされます。

※数値入力を誤った場合

ENTER を押す前なら **C・CE** **削除** でクリアし再入力してください。

ENTER を押した後の変更は **CM▲** か **M・** を押して変更したい項目まで「？」

を戻して新しい内容を入力してください。

※小数点使用上の注意

本機では「年利率」と下記メニューの「借入額」及「内ボーナス分」のみ小数点が可能です。

例) 借入額105万3,200円を万円単位で入力する場合

105.32 **ENTER**

※期間に月を入力する場合

例) 返済期間が10年7ヶ月の場合

・0ヶ月が表示されている場合

10 **ENTER** **M・** **7** **ENTER**

・0以外の月が表示されている場合

10 **ENTER** **7** **ENTER**

例) 返済期間が8年6ヶ月と表示されているのを9年にする場合

9 **ENTER** **0** **ENTER**

※電卓を使って入力する場合

電卓で計算した結果を入力することもできます。

「？」が表示されている項目で **電卓** を押すと電卓モードになります。

電卓仕様で答が表示されたらもう一度 **電卓** を押すと「答を使用？YES/NO」が表示されますので **YES** と **ENTER** を押して確定させます。

④ 計算結果の表示

最終項目を入力すると、ピッピッというビープ音と共に計算結果が表示されます。

計算結果が一画面のみの場合、**ENTER** を押すと入力処理に戻ります。計算結果が二画面以上の場合、**ENTER** を押す毎に次の画面に移ります。この場合計算結果の表示のみで入力処理には戻りません。(一部例外があります。)

ビープ音の回数変更や中止は55頁参照。

《新規・借り換え諸費用計算基準》

元利均等返済額計算と借り換え計算の諸費用は、一定の割り切りのもとに下記の要領で計算しており、あくまでも概算です。

1) 印紙代 (新規契約)

借入額が	50万円以下	400円	借入額が	1億円以下	60,000円
	100万円以下	1,000円		5億円以下	100,000円
	500万円以下	2,000円		10億円以下	200,000円
	1千万円以下	10,000円		50億円以下	400,000円
	5千万円以下	20,000円			

2) 登記費用 (新規契約、旧契約)

イ) 抵当権抹消費用 (新規契約+報酬)	-----	11,410円	
ロ) 抵当権設定費用	・登録免許税	借入額の千分の4 (円未満切捨て)	
	・報酬	-----	
	借入額が	500万円以下	24,840円
		1千万円以下	27,560円
		5千万円以下	34,650円
		1億円以下	41,730円
		以降1億円毎に	8,860円加算
	・交通費及び日当	-----	25,000円
	・登記簿謄本・抄本閲覧代	-----	6,000円

※ 新規諸費用では抵当権抹消費用11,410円、謄本代1,500円は加算しません。

※ 報酬については平成15年に報酬体系が自由化されました。旧報酬体系での参考表示で実際の手数料とは必ずしも一致しませんからご注意ください。

3) 保証料 下記保証料表より算出 (借入額100万円につき)

期間	保証料	期間	保証料	期間	保証料	期間	保証料
1年	1,016円	10年	8,544円	19年	14,308円	28年	18,440円
2	1,942	11	9,302	20	14,834	29	18,800
3	2,844	12	10,006	21	15,416	30	19,137
4	3,724	13	10,688	22	15,907	31	19,469
5	4,580	14	11,345	23	16,374	32	19,782
6	5,426	15	11,982	24	16,826	33	20,082
7	6,240	16	12,595	25	17,254	34	20,383
8	7,031	17	13,187	26	17,669	35	20,681
9	7,799	18	13,758	27	18,063		

保証料の変更と確認は54頁参照。

4) ローン手数料(新規契約) 31,500円

※ アパートローン、不動産ローンの場合は、補正が必要です。

※ ローン手数料の変更は53頁参照。

5) 解約手数料(旧契約)

銀行・生保融資	信販会社融資	住宅金融公庫
借入後 3年以内 3,150円	借入後 3年未満 融資元本の 2%	0円
〃 3年超5年以内 2,100円	〃 3年以上7年未満 〃 0.5%	
〃 5年超7年以内 1,050円	〃 7年以上 一律 10,500円	
〃 7年超 0円	(7年未満の最低手数料10,500円)	

注. 解約手数料は融資機関により異なる場合がありますのでご注意ください。

解約手数料の変更はできません。

元利均等返済額と残債・諸費用計算

■例■ 1,000万円(内ボーナス分で500万円)を20年間借りる場合の返済額を計算します。金利は年利率3.5%で借入れから初回ボーナス返済までの月数は2カ月です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 1	メニュー呼出
Menu No. (1~8) ?	1 ENTER	メニュー選択 2頁の操作の手順 ②参照
借入額 ? 0万円	1000 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	500 ENTER	
期間 ? 0年 0ヶ月	20 ENTER	注 1
年利率 ? 0%	3.5 ENTER	
初回ボーナスまで? 6ヶ月	2 ENTER	

②【計算結果】

毎月返済額	28,997円	ENTER	年間返済額=毎月返済額×12+ボーナス月加算額×2
ボーナス月加算額	172,855円		
年間返済額	693,674円		

③【入力処理】

再計算 =1 残債計算=2 返済総額=3 諸費用 =4 ? [合算処理] 開始=5 追加=6		注 2 [合算処理]については23頁に記載
--	--	--------------------------

注 1. 期間に月数を入力するときは、年利率に?が表示されている画面で **M-** か **CM▲** を押して所定の月数を入力してください。3頁の操作の手順参照。

注 2. 1 を選択すると借入額の入力に戻ります。
この場合、直前に入力した金額が表示されます。変更が無い項目は **ENTER** のみ押して次の項目に移ります。
2 を選択すると残債計算(次頁参照)に移ります。
3 を選択すると返済総額と利息総額を表示されます。
4 を選択すると新規ローン契約の諸費用計算(次頁参照)に移ります。

5, 6 は複数ローン合算処理です。23 頁「複数ローン返済額合算処理」参照。

前頁③で 2 を選択し、61 ヶ月後の残債を計算します。

④【入力処理】

<残債計算> 経過月数 ?	61 <input type="button" value="ENTER"/>	
------------------	---	--

⑤【計算結果】

残債合計 8,046,986円 (内 毎月返済分残債) 4,039,191円 (内 ボーナス返済分残債) 4,007,795円 ボーナス分後払い利息 58,445円	<input type="button" value="ENTER"/>	付利単位100円 注 3, 4
---	--------------------------------------	--------------------

注 3. ボーナス分後払い利息とは、残債計算直前のボーナス分返済月から残債計算月までのボーナス返済分の利息です。本例では5カ月分の利息になります。
 $4,007,700 \times 0.035 \div 12 \times 5 = 58,445$ 円

注 4. を押すと③の画面に移ります。

前頁③で 3 を選択し、返済総額と利息を表示します。

⑥【計算結果】

返済総額 13,873,480円 内 利息 3,873,480円	<input type="button" value="ENTER"/>	注 5
-------------------------------------	--------------------------------------	-----

注 5. を押すと③の画面に移ります。

前頁③で 4 を選択し、新規借入れ時の諸費用を計算します。

⑦【計算結果】

---<諸費用概算>---		
印紙代 10,000円 登記費用 97,060円 保証料 148,340円 ローン手数料 31,500円 *合計* 286,900円	<input type="button" value="ENTER"/>	注 6

注 6. を押すと①の画面に移ります。

元利均等返済額（ボーナス月加算額指示）

■例■ 2,000万円を20年間借りて、ボーナス月加算額を250,000円位にしたい場合の返済額を計算します。金利は年利率2.5%で借り入れから初回ボーナス返済までの月数は3カ月です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F1	メニュー呼出
Menu No. (1~8) ?	2 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	2000 ENTER	
ボーナス月加算(指示)額 ? 0円	250000 ENTER	円単位です。
期間 ? 0年 0ヶ月	20 ENTER	
年利率 ? 0%	2.5 ENTER	
初回ボーナスまで ? 6ヶ月	3 ENTER	

②【計算結果】

毎月返済額	64,224円	注1, 2
ボーナス月加算額	249,988円	
ボーナス分借入額	788万円	

注1. 本計算は、まず入力されたボーナス月加算額からボーナス分の借入額を求めます。次に千円位を切り捨て万円単位 788 万円にしたうえで、借入額 2000 万円、内ボーナス分 788 万円とし元利均等返済額を求める算式で毎月返済額とボーナス月加算額を計算します。

従って入力したボーナス月加算(指示)額と計算して求めた金額とは必ずしも一致しませんのでご注意ください。

注2. **ENTER** を押すと借入額の入力に移ります。

他のメニューでも同様ですが、原則として計算結果が1画面の場合は **ENTER** を押すと入力画面に、計算結果が複数画面に及ぶ場合は計算結果を繰り返し表示します。

年別利息残高計算

■例■ A銀行より 2,000万円借りてアパートを建てたときの、ローン返済額と各年毎の利息はいくらになるか相談がありました。
金利は年利率3.2%、返済期間10年です。

なお1年目の返済回数は4回(8月に借入れ決算月は12月)です。
返済開始月は借入れの翌月を前提条件とします。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F1	メニュー呼出
Menu No. (1~8) ?	3 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	2000 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	ENTER	
期間 ? 0年 0ヶ月	10 ENTER	
年利率 ? 0%	3.2 ENTER	
初年度返済回数 ? 0回	4 ENTER	

②【計算結果】

毎月返済額 194,973円		
ボーナス月加算額 0円	ENTER	
年間返済額 2,339,676円		
1年目		
支払利息 211,061円		
支払元金 568,831円		
年度末残 19,431,169円	ENTER	
2年目		
支払利息 596,368円		
支払元金 1,743,308円		
年度末残 17,687,861円		
3年目		
支払利息 539,758円		
支払元金 1,799,918円		
年度末残 15,887,943円	ENTER	
4年目		
支払利息 481,308円		
支払元金 1,858,368円		
年度末残 14,029,575円		

以下 **ENTER** を押す毎に次の2年分が表示されます。

固定金利特約型返済額計算

■例■ 3000万円（内ボーナス分で1000万円）を20年間借りる場合の返済額を計算します。

金利は当初3年間2.1%、4年目以降3.5%です。なお、借り入れからボーナスまでの月数は3ヶ月です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F1	メニュー呼出
Menu No. (1~8) ?	4 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	3000 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	1000 ENTER	
期間 ? 0年	20 ENTER	
①年利率 ? 0% 0年	2.1 ENTER	当初の金利
①年利率 2.1% ? 0年	3 ENTER	当初の金利期間
②年利率 ? 0% 0年	3.5 ENTER	4年目以降の金利
②年利率 3.5% ? 17年	ENTER	注
初回ボーナスまで? 6ヶ月	3 ENTER	

②【計算結果】

1~3年毎月返済額	102,126円	
1~3年ボーナス月加算額	305,858円	
4年以降毎月返済額	113,994円	ENTER
4年以降ボーナス月加算額	340,812円	

③【入力処理】

再計算 =1		
残債計算=2		
返済総額=3		
[合算処理] ?		
開始 =4		
追加 =5		

注. ②年利率期間には“期間-①年利率期間”が自動設定されます。
3段階金利の場合は②年利率期間に所定の期間を入力してください。

返済額からの借入限度額計算

■例■ 毎月33,000円、ボーナス加算として185,000円を返済する場合の借入限度額を計算します。返済期間は30年、金利は年利率4.3%で借入れから初回ボーナス返済までの月数は5ヶ月です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F1	メニュー呼出
Menu No. (1~8) ?	5 ENTER	メニュー選択
毎月返済額 ? 0円	33000 ENTER	
ボーナス月加算額 ? 0円	185000 ENTER	
期間 ? 0年 0ヶ月	30 ENTER	
年利率 ? 0%	4.3 ENTER	
初回ボーナスまで ? 6ヶ月	5 ENTER	注1

②【計算結果】

借入限度額	1,280万円	
内ボーナス借入分	614万円	注2

注1. 借入れから初回ボーナスまでの月数を入力してください。
初期値として6がセットされております。

注2. 借入限度額は、毎月借入分とボーナス借入分の合計の万円位を切り捨てて10万円単位で表示します。

年収からの借入限度額計算

■例■ 既に住宅金融公庫へ毎月43,250円、ボーナス加算分で183,600円返済しなければならない人の、住宅ローンの借入限度額を計算します。金利は年3.7%、期間は25年間で税込み年収は780万円です。

●年間元利返済額の割合は右表の内容が定数として登録されています。変更は53頁参照。

年収300万円以下	年収の25%以内
年収400万円以下	年収の30%以内
年収400万円超	年収の35%以内

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F1	メニュー呼出
Menu No. (1~8) ?	6 ENTER	メニュー選択
税込み年収 ? 0万円	780 ENTER	
毎月返済額(既存分) ? 0円	43250 ENTER	注1
ボーナス月加算(既存分) ? 0円	183600 ENTER	
返済割合 ? 35%	ENTER	注2

②【計算結果】 ③【入力処理】

毎月返済可能額	153,650円	25 ENTER	
期間 ?	0年 0ヶ月		
年利率 ?	0%	3.7 ENTER	

④【計算結果】

残借入限度額	3,000万円	
--------	---------	--

注1. 他にも支払いがあれば、各々の合算額を入力してください。

注2. 35%は入力された年収に基づき登録されている割合表より求めた値です。**ENTER**のみで35%が入力されます。表示の値と異なるときは、所定の割合を入力してください。

返済割合は、再計算の場合もその都度算出されますのでご注意ください。

返済期間逆算

■例■ 借入額1,000万円を毎月50,000円、ボーナス加算分で250,000円を返済する場合の返済期間を計算します。金利は年利率4.3%で借り入れから初回ボーナス返済までの月数は2ヶ月です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F1	メニュー呼出
Menu No. (1~8) ?	7 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	1000 ENTER	
毎月返済額 ? 0円	50000 ENTER	
ボーナス月加算額 ? 0円	250000 ENTER	
年利率 ? 0%	4.3 ENTER	
初回ボーナスまで ? 6ヶ月	2 ENTER	

②【計算結果】

期間	11年 5ヶ月		
ボーナス借入分	458万円		

注. 逆算方式のためボーナス月によっては差額が大きくなるケースもあります。従って本計算はあくまでも目安として行い、最終的には6頁の元利均等返済額計算で確定させてください。

元利均等償還内訳

■例■ 前掲6頁元利均等返済額計算と同内容で、1回目からの内訳を計算します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F1	メニュー呼出
Menu No. (1~8) ?	8 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	1000 ENTER	

以下前掲6頁『元利均等返済額計算』の②まで同様につき省略

②【入力処理】

償還内訳表示開始 回目 ?	1 ENTER	
---------------	-----------------------	--

③【計算結果】

1回目	支払い元金 14,414円 支払い利息 14,583円 残債 9,985,586円	ENTER	(1回目合計)
毎月分	元金 14,414円 利息 14,583円 残債 4,985,586円	ENTER	ボーナス月でないためボーナス分の内訳は、元金・利息とも0です
ボーナス分	元金 0円 利息 0円 残債 5,000,000円		
2回目	支払い元金 158,145円 支払い利息 43,707円 残債 9,827,441円		
毎月分	元金 14,456円 利息 14,541円 残債 4,971,130円	ENTER	
ボーナス分	元金 143,689円 利息 29,166円 残債 4,856,311円		

以下省略

※ 借入日から1回目返済日までは1ヶ月、付利単位は100円で計算します。

借り換え計算

償還予定表がある場合

■例■ 下記住宅金融公庫融資の住宅ローンを、借り替える場合の返済額と諸費用を計算します。

◀旧契約▶ 住宅金融公庫：借入額1,800万円、毎月返済額 123,819円
借入期間20年、経過月数7年8ヵ月、残債額1,330万円

◀新契約▶ 借入額1,300万円、借入期間 15年、年利率3.7%

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考	
	F 2	メニュー呼出	
Menu No. (9~14) ?	9 ENTER	メニュー選択	
償還表はありますか YES or NO ?	YES	旧契約内容	
借入額 ? 0万円	1800 ENTER		
毎月返済額 ? 0円	123819 ENTER		
ボーナス月加算額 ? 0円	ENTER		
期間 ? 0年	20 ENTER		
残債額 ? 0万円	1330 ENTER		
経過月数 ? 0ヵ月	92 ENTER		
借入先 ? 0 (銀行・生保=1) (信販会社=2)(金融公庫 =3)	3 ENTER		
借入額 ? 0万円	1300 ENTER		新契約内容
内ボーナス分 ? 0万円	ENTER		
期間 ? 0年 0ヵ月	15 ENTER		
年利率 ? 0%	3.7 ENTER		

②【計算結果】

毎月返済額	94,216円	ENTER	新契約の返済額
ボーナス月加算額	0円		
年間返済額	1,130,592円		
毎月返済差額	-29,603円	ENTER	旧契約と新契約との返済差額
ボーナス月加算差額	0円		
年間返済差額	-355,236円		
印紙代	20,000円		新規・借り換え 諸費用計算基準 4頁参照
登記費用	129,060円		
保証料	155,766円		
ローン手数料	31,500円		
解約手数料	0円		
合計	336,326円		

借り換え計算

償還予定表がない場合

■例■ 下記旧契約内容の住宅ローンを、4年6カ月後に新契約内容に借り換える場合の返済額を計算します。

≪旧契約≫ 借入額 1,600万円(内ボーナス分800万円)、期間20年
年利率 7.8%、借入れから初回ボーナス返済まで3カ月

≪新契約≫ 借入額 4年6カ月後の残債金額にボーナス分後取り利息分を加算。新期間は旧契約の残期間 年利率 3.7%

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 2	メニュー呼出
Menu No. (9~14) ?	9 ENTER	メニュー選択
償還表はありますか YES or NO ?	NO	旧契約内容
借入額 ? 0万円	1600 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	800 ENTER	
期間 ? 0年 0ヶ月	20 ENTER	
年利率 ? 0%	7.8 ENTER	
初回ボーナスまで ? 6ヶ月	3 ENTER	
借入先 ? 0 (銀行・生保=1) (信販会社=2)	1 ENTER	

②【計算結果】

毎月返済額	65,922円	ENTER	旧契約の 返済額
ボーナス月加算額	390,719円		
年間返済額	1,572,502円		

③【入力処理】

経過月数 ?	54 ENTER
--------	------------------------

④【計算結果】

残債合計	14,061,243円	ENTER
(内 毎月返済分残債)	7,102,787円	
(内 ボーナス返済分残債)	6,958,456円	
ボーナス分後払い利息	135,688円	

⑤【入力処理】

借入額	? 1420万円	ENTER	新契約内容
内ボーナス分	? 709万円	ENTER	注2.
期間	? 15年 6ヶ月	ENTER ENTER	注3.
年利率	? 0%	3.7 ENTER	

初回ボーナスまで	?	3ヶ月	<input type="button" value="ENTER"/>	
----------	---	-----	--------------------------------------	--

⑥【計算結果】

毎月返済額	50,286円		<input type="button" value="ENTER"/>	新契約の返済額
ボーナス月加算額	299,831円			
年間返済額	1,203,094円			
毎月返済差額	-15,636円		<input type="button" value="ENTER"/>	旧契約と新契約との返済差額
ボーナス月加算差額	-90,888円			
年間返済差額	-369,408円			
印紙代	20,000円			新規・借り換え諸 費用計算基準 4頁参照
登記費用	133,860円			
保証料	178,849円			
ローン手数料	31,500円			
解約手数料	2,100円			
合計	366,309円			

注1. 残債計算で段階金利は非対応につき、償還表が無い場合の旧契約住宅金融公庫は対応していません。

注2. ボーナス分後取り利息を合算した金額が表示されます。新たに借り入れる金額が表示以外のときは所定の金額を入力してください。

注3. 旧契約の期間から経過月数を控除した期間が表示されます。

注4. 借り換えにより旧債務が完済されるため、未経過期間に対応する保証料(戻し保証料)が返済される場合があります。戻し保証料は融資機関によって大幅に異なるため表示しません。

繰り上げ返済計算

■例■ 500万円を5.5%で20年間借りる場合の返済額と、5年1ヶ月後に50万円の内入れをしたときの返済額を計算します。(新金利は2.2%)

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 2	メニュー呼出
Menu No. (9~14) ?	10 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	500 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	0 ENTER	
期間 ? 0年 0ヶ月	20 ENTER	
年利率 ? 0%	5.5 ENTER	

②【計算結果】

毎月返済額	34,394円	ENTER	
ボーナス月加算額	0円		
年間返済額	412,728円		

③【入力処理】

経過月数 ?	61 ENTER	
--------	------------------------	--

④【計算結果】

残債合計	4,194,284円	ENTER	
(内 毎月返済分残債)	4,194,284円		
(内 ボーナス返済分残債)	0円		
ボーナス分後払い利息	0円		

⑤【入力処理】

内入額 ? 0万円	50 ENTER	注1
新时期 ? 14年 11ヶ月	ENTER ENTER	注2
新年利率 ? 0%	2.2 ENTER	

⑥【計算結果】

毎月返済額	24,228円	ENTER	
ボーナス月加算額	0円		
年間返済額	290,736円		
毎月返済差額	-10,166円	ENTER	
ボーナス月加算差額	0円		
年間返済差額	-121,992円		
返済額を変えないと 期間は 9年11ヶ月で 5年 0ヶ月短縮されます			注3

注1. ボーナス分後払い利息がある場合、元金への加算指示画面が表示されます。

注2. 新时期が15年の場合 **15** **ENTER** **0** **ENTER**

注3. 内入れ後の返済額を変えない場合の期間を表示します。ボーナス併用はボーナス月により誤差が生じやすいため、月賦返済のみの場合に限り表示します。

フラット 35・50 返済額

■例■ 5,000万円(内ボーナス分で2000万円)を35年間借りる場合の返済額を計算します。金利は年利率2.5%で借入れから初回ボーナス返済までの月数は3カ月です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 2	メニュー呼出
Menu No. (9~14) ?	11 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	5000 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	2000 ENTER	
期間 ? 0年 0ヶ月	35 ENTER	
年利率 ? 0%	2.5 ENTER	
初回ボーナスまで? 6ヶ月	3 ENTER	

②【計算結果】

毎月返済額	107,248円	ENTER	年間返済額=毎月返済額×12+ボーナス月加算額×2
ボーナス月加算額	427,731円		
年間返済額	2,142,438円		

③【入力処理】

再計算 =1 残債計算=2 返済総額=3 [合算処理] 開始=4 追加=5	?	注 [合算処理]については23頁参照
--	---	-----------------------

注. 1 を選択すると借入額の入力に戻ります。

この場合、直前に入力した金額が表示されます。変更が無い項目は **ENTER** のみ押して次の項目に移ります。

2 を選択すると残債計算に移ります。

3 を選択すると返済総額と利息総額を表示されます。

住宅金融公庫返済額計算<元利均等>

■例■ 住宅金融公庫の通常融資で1,000万円(内ボーナス分400万円、当初金利2.7%、11年以降4%)、特別加算で800万円(内ボーナス分300万円、当初金利3%、11年以降4.3%)の融資を受けたときの返済額を計算します。借入期間は35年です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 2	メニュー呼出
Menu No. (9~14) ?	12 ENTER	メニュー選択
通常融資 ? 0万円	1000 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	400 ENTER	注1
期間 ? 0年	35 ENTER	
①年利率 ? 0%	2.7 ENTER	当初10年間の金利 注2
②年利率 ? 0%	4.0 ENTER	11年目以降の金利 注2
特別加算 ? 0万円	800 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	300 ENTER	
①年利率 ? 0%	3.0 ENTER	当初10年間の金利 注2
②年利率 ? 0%	4.3 ENTER	11年目以降の金利 注2

②【計算結果】

-----< 通常融資 >----- 1-10年毎月返済額 22,098円 1-10年ボーナス月加算額 88,691円 11年以降毎月返済額 25,425円 11年以降ボーナス月加算額 102,138円	ENTER	
-----[特別加算]----- 1-10年毎月返済額 19,242円 1-10年ボーナス月加算額 69,517円 11年以降毎月返済額 22,096円 11年以降ボーナス月加算額 79,889円	ENTER	特別加算があるときのみ表示。
*****< 合計 >***** 1-10年毎月返済額 41,340円 1-10年ボーナス月加算額 158,208円 11年以降毎月返済額 47,521円 11年以降ボーナス月加算額 182,027円		特別加算があるときのみ表示。 ENTER を押すと合算処理に移ります。22頁参照。

注1. 全借入額に対するボーナス割合のチェックは行っておりません。

注2. 利率は前回入力された内容が表示されます。表示の内容と同じ場合は**ENTER**のみを、異なる場合は新しい利率を入力してください。

注3. 2段階目金利の返済額計算に必要な残債計算は、積上方式によらず逆算方式で求めているため、実際の返済額と微差が生じる場合があります。

注4. 元金均等方式は対応しておりません。

財形融資返済額計算<元利均等>

■例■ 下記内容で財形融資を受けたときの返済額を計算します。
借入期間は25年です。

- 利子補給対象分 710万円（内ボーナス分200万円）
当初5年間の金利は2.1%
- 利子補給対象外 290万円（内ボーナス分100万円）
当初5年間の金利は2.8%

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 2	メニュー呼出
Menu No. (9~14) ?	13 ENTER	メニュー選択
利子補給<有>借入額 ? 0万円	710 ENTER	注1
内ボーナス分 ? 0万円	200 ENTER	
期間 ? 0年	25 ENTER	
年利率 ? 0%	2.1 ENTER	
利子補給[無]借入額 ? 0万円	290 ENTER	注1
内ボーナス分 ? 0万円	100 ENTER	
年利率 ? 0%	2.8 ENTER	

②【計算結果】

<p>利子補給<有></p> <p>1-5年 毎月返済額 21,865円</p> <p>1-5年 ボーナス月加算額 51,619円</p>	ENTER	
<p>利子補給[無]</p> <p>1-5年 毎月返済額 8,813円</p> <p>1-5年 ボーナス月加算額 27,944円</p>	ENTER	
<p>＋ 合 計 ＋</p> <p>1-5年 毎月返済額 30,678円</p> <p>1-5年 ボーナス月加算額 79,563円</p>	ENTER	ENTER を押すと合算処理に移ります。

注1. 財形融資は当初5年間固定金利で6年目以降は変動金利になります。

ここで計算される金額は、当初5年間の返済額になります。

利率は前回入力された内容が表示されます。表示の内容と同じ場合は **ENTER** のみを、異なる場合は新しい利率を入力してください。

注2. 「複数ローン返済額合算処理」では当初の金利が最終回まで適用される前提で合算します。

つなぎ融資利息計算

■例■ 平成21年10月29日より平成22年1月10日まで年利率2.4%で500万円借りた場合の利息額を計算します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 2	メニュー呼出
Menu No. (9~14) ?	14 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	500 ENTER	
年利率 ? 0%	2.4 ENTER	
借入年月日(平成) ? 000000	211029 ENTER	
返済年月日(平成) ? 000000	220110 ENTER	

②【計算結果】

片端入	73日		
利息	24,000円		
両端入	74日		
利息	24,328円		

注. 片端入は起算日を日数にカウントせず、両端入はカウントする方法です。
融資先により異なりますから注意してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----

両端入では16日、片端入では15日になります。

複数ローン返済額合算処理

F1 1の元利均等返済額、4の固定金利特約型 **F2** 11のフラット
35・50、12の住宅金融公庫返済額、13の財形融資返済額計算では各
々の計算結果が表示された後、返済額合算指示画面になります。

F1 1の
元利均等返済額、固定金利特約型
フラット35・50での合算画面

F2 11～13の
住宅金融公庫、財形融資返済額
での合算画面

再計算 =1	
残債計算=2	
返済総額=3	
(諸費用 =4) ?	
[合算処理]	
開始=5	
追加=6	

[合算処理]		
開始	=1	
追加	する =2 ?	
	しない=3	

『開始』を選択すると今回計算した返済額を1件目として、1年目から10年目と11年目以降の2段階に分けて下記合計画面を表示します。

※ 1件分合計 ※	
(1年-10年)	
毎月	41,340円
ボーナス	158,208円
(11年以降)	
毎月	47,521円
ボーナス	182,027円

毎月は毎月返済額
ボーナスはボーナス月加算額

左記は20頁の住宅金融公庫の返済額表示後
で『開始』を選択した例です。

『追加』を選択すると直前の合計額に今回計算した返済額を合算した
上で合計画面を表示します。

※ 2件分合計 ※	
(1年-10年)	
毎月	70,337円
ボーナス	331,063円
(11年以降)	
毎月	76,518円
ボーナス	354,882円

左記は20頁の住宅金融公庫の返済額表示後
で『開始』を、6頁の元利均等返済額表示後
『追加 する』を選択した例です。

元利据置（利息元金繰入）返済額計算

■例■ アパートローンを6ヶ月の元利据置（同期間中の利息を、借入元金に組み入れる）で3,000万円借りた場合の、据置利息と毎月の返済額を計算します。年利率3.3%、借入日は平成21年10月3日、第1回目の返済日は平成22年5月26日、期限年月は平成51年10月です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F3	メニュー呼出
Menu No. (15~20) ?	15 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	3000 ENTER	
年利率 ? 0%	3.3 ENTER	
借入日 ? 000000	211003 ENTER	
1回目返済日 ? 000000	220526 ENTER	
期限年月 ? 0000	5110 ENTER	

②【計算結果】

毎月返済額	135,158円		
据え置き利息	557,383円		
(23日分利息)	62,383円	ENTER	
(6ヶ月分利息)	495,000円		

注. 元利据置型（利息一括支払方式）の計算方法

据置期間中の支払利息合計は、本メニューにより計算し、返済金額は **F1** の元利均等返済額計算メニューを利用してください。（返済期間は据置期間を控除して計算すること）

元金据置返済額計算

■例■ 2,000万円（内ボーナス分1,000万円）を年利率3.1%で20年間（当初6ヶ月元金据置）借りの場合の、元金据置時月間支払利息と据置後の返済額を計算します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F3	メニュー呼出
Menu No. (15~20) ?	16 ENTER	メニュー選択
借入額 ? 0万円	2000 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	1000 ENTER	
期間 ? 0年	20 ENTER	
年利率 ? 0%	3.1 ENTER	
据置後ボーナスまで ? 0ヶ月	6 ENTER	
据置期間 ? 0ヶ月	6 ENTER	

②【計算結果】

据置利息（月）	51,666円		
毎月返済額	56,998円		
ボーナス月加算額	343,594円		

減価償却費計算

■例■ 5,000万円のアパートを新築した場合の定額法での減価償却費を計算します。耐用年数は24年、1年目の償却月数は5ヶ月です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 3	メニュー呼出
Menu No. (15~20) ?	18 ENTER	メニュー選択
[取得時期] 平成19年3月以前=1 平成19年4月以降=2 ? 平成24年4月以降=3	3 ENTER	
取得価額 ? 0万円	5000 ENTER	注 1
法定耐用年数 ? 0年	24 ENTER	
経過年数 ?年 0ヶ月	0 ENTER	
経過年数 0年 ?ヶ月	0 ENTER	
定額=1 定率=2 ? 0	2 ENTER	
1年目償却月数 ? 0ヶ月	5 ENTER	

②【計算結果】

定率償却率 0.083 耐用年数 24年	ENTER	
1年目償却額 1,729,166円 年度末残高 48,270,834円 2年目償却額 4,006,479円 年度末残高 44,264,355円	ENTER	
3年目償却額 3,673,941円 年度末残高 40,590,414円 4年目償却額 3,369,004円 年度末残高 37,221,410円	ENTER	以下省略

平成19年4月以降取得の場合

1年目償却額 2,166,666円 年度末残高 47,833,334円 2年目償却額 4,974,666円 年度末残高 42,858,668円	ENTER	
3年目償却額 4,457,301円 年度末残高 38,401,367円 4年目償却額 3,993,742円 年度末残高 34,407,625円	ENTER	注 2 5年以降は省略

注 1. 一括償却資産については対応しておりません。

注 2. 平成19年4月以前に未償却残高が5%に達している場合は、計算結果が異なる場合があります。実際の運用は法令に基づき対応してください。

実効金利計算

■例■ 下記の実効金利を計算します。

貸出金額	貸出金利	預入金額	預入金利
1,000 万円	5.30%	300 万円	2.52%
2,800 万円	4.53%	1,500 万円	2.80%
		130 万円	2.10%

① 【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 3	メニュー呼出
Menu No. (15~20) ?	19 ENTER	メニュー選択
貸出金額(万円) ?	1000 ENTER	(貸出内容) 貸出内容の入力終了は0 ENTER
貸出金額 1,000万円 年利率(%) ?	5.3 ENTER	
貸出金額(万円) ?	2800 ENTER	
貸出金額 2,800万円 年利率(%) ?	4.53 ENTER	
貸出金額(万円) ?	ENTER	
預入金額(万円) ?	300 ENTER	
預入金額 300万円 年利率(%) ?	2.52 ENTER	
預入金額(万円) ?	1500 ENTER	
預入金額 1,500万円 年利率(%) ?	2.8 ENTER	
預入金額(万円) ?	130 ENTER	
預入金額 130万円 年利率(%) ?	2.1 ENTER	
預入金額(万円) ?	ENTER	

② 【計算結果】

平均貸出利率	4.7326%		注1
平均預入利率	2.7093%		
年間収益	127.5万円		
実効金利	6.8208%		

注1. 年間収益と実効金利は貸出金額>預入金額の場合のみ表示します。

注2. 運用資産だけの総合利回りを計算する場合には、貸出金額にゼロを入力します。この場合年間収益と実効金利は表示されません。
貸出だけの計算はできません。

ワンルームマンション投資シミュレーション

■例■ 本プログラムは、給与所得者がワンルームマンションを初めて購入し賃貸した場合、所得税や住民税が概ねどのように変わり、その結果としてのローン実質負担額概算を計算するものです。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 3	メニュー呼出
Menu No. (15~20) ?	20 ENTER	メニュー選択
給与年収 ? 0万円	2200 ENTER	注 1
その他収入 ? 0万円	ENTER	
配偶者控除 ? 0 (有=1 無=0)	1 ENTER	
扶養家族数 ? 0人	3 ENTER	注 2
耐用年数 ? 0年	47 ENTER	注 3
築年数 ? 0年	ENTER	
物件価格 ? 0万円	5000 ENTER	
建物価格 ? 0万円	3500 ENTER	注 4
設備償却方法 ? 2 (定率=1 定額=2)	1 ENTER	注 5
設備割合 ? 0%	30 ENTER	注 6
借入 ? 5000万円	ENTER	
期間 ? 0年	25 ENTER	
年利率 ? 0%	7.9 ENTER	
初年計上月数 ? 0ヶ月	4 ENTER	注 7
賃料(月) ? 0万円	10 ENTER	
管理費(月) ? 0万円	1.5 ENTER	
諸経費(初年度) ? 175万円	ENTER	注 8
(次年度以降) ? 52万円	ENTER	
入室率(初年度) ? 100%	ENTER	注 9
入室率(次年度以降) ? 100%	ENTER	
[上昇率] 給与等 (毎年) ? 0%	1 ENTER	注 10
家賃 (隔年) ? 0%	1 ENTER	
管理費 (毎年) ? 0%	0 ENTER	
諸経費 (毎年) ? 0%	1 ENTER	

②【計算結果】

1年目計算中			
1年目減税効果	127.8万円		
所得税 (前)	358.3		所得税節税額 注11
(後)	-260.2 = 98.1万円	ENTER	投資前税額-投資後税額
住民税 (前)	157.8		住民税節税額
(後)	-128.1 = 29.7万円		投資前税額-投資後税額
不動産所得	-297.3円		
家賃 (+)	40.0万円		償却費は本物件を平成19年4月以降に取得した前提で計算しています
管理費 (-)	6.0万円	ENTER	
償却費 (-)	64.4万円		
諸経費 (-)	175.0万円		
ローン利息 (-)	91.9万円		
			注12
ローン実質負担額	-8.8万円		
ローン返済額 (+)	153.0万円		注13
家賃 (-)	40.0万円	ENTER	
管理費 (+)	6.0万円		
減税効果 (-)	127.8万円		
---<諸経費込みの負担額>---	166.2万円		
借入金残高	4,978.4万円		注14
給与等収入	2,200.0万円		
給与所得	1,920.0万円		
控除額	368.6万円		
課税所得	1,551.4万円		
通算所得	1,254.1万円		
2年目計算中			

以下省略

- 注1. 給与年収400万円以上が計算対象です。給与年収400万円未満の場合、税額が正しく計算されず実態にそぐわないケースがあります。
- 注2. 配偶者以外の扶養家族の人数です。
- 注3. 新築での法定耐用年数です。
- 注4. 消費税額から逆算して算出することもできます。
- 注5. 設備の減価償却方法を入力してください。(建物は定額法です)
- 注6. 建物全体(3,500万円)に対する設備の割合です。
- 注7. 1年目のローン返済回数, 減価償却の月数, 家賃等の月数です。
必ずしもこの3項目が同じ月数になるとは限りませんが、ここではすべて同じ計上月数で計算します。
- 注8. 1年目の経費は、事務手数料, 印紙代, 火災保険料, 司法書士報酬, 公正証書代, 各種登記料, 抵当権設定料, 不動産取得税等が考えられますが、ローン融資先や地域によって変わってきます。経験的には物件価格の3%~3.5%程度が1年目の諸経費額の近似値になると言われています。又、仲介手数料が必要な場合は更に約3%が必要になります。本機では仲介手数料無しとみなして物件価格の3.5%での金額が参考表示されます。**ENTER**のみ押すと表示の金額が入力されますが、

できるだけ実額を入力し、実態に沿うようにしてください。

2年目の経費は、建物価格に対して火災保険料が0.1%、固定資産税・都市計画税が0.9%の合計1.0%程度が2年目の諸経費額の近似値になると言われています。本機では建物価格の1.5%での金額が参考表示されます。

注9. 家賃保証がないなど、100%でない場合推定値を入力してください。

注10. 家賃は隔年、管理費は毎年になっているのに注意してください。家賃も管理費も隔年の場合は、月間管理費を控除した月間賃料を入力し、月間管理費は0を入力してください。

上昇率は複利で計算されます。数値入力にあたっては十分注意が必要です。

注11. 節税額＝投資前税額－投資後税額

投資前税額とは、ワンルームマンションを購入しないときの税額です。

投資後税額とは、ワンルームマンションを購入し確定申告したときの税額です。

注12. 不動産所得＝受取家賃－管理費－減価償却費－諸経費－ローン利息

この算式で不動産所得が赤字の場合に損益通算ができます。

損益通算するときは、土地部分に対する利息は算入しません。注13参照

(本機では不動産所得が黒字の場合も合算し税額等を参考表示しますが、不動産所得が黒字の場合は総合課税になりますので注意してください。)

ローン実質負担額＝ローン返済額－家賃収入－減税額（＋諸経費）

ローン実質負担額は、減税額のうち所得税分は確定申告により翌年に還付されるものであり、住民税は翌年度に確定申告結果に基づき計算され徴収されます。即ちローン実質負担額はタイム・ラグを無視して算出しており、誤解を生じる項目ですからご注意ください。

注13. ローン利息は不動産所得が黒字の場合全額、赤字の場合は建物部分の利息になります。残債は当該年度末での借入金の残高です。

注14. 給与等収入は給与収入とその他収入の金額です。

給与所得は給与等から給与所得控除後の金額です。

控除額は下記要領で計算するため概算になりますが、投資前税額・投資後税額ともに同条件で計算しますので減税額への影響は僅少となります。

社会保険料控除額（ボーナス額を考慮した限度額を設定）

健康保険料：給与年収×一般及び介護保険料率

厚生年金保険料：給与年収×保険料率

生命保険控除額：最高額を控除します。

基礎控除・配偶者控除・一人当たりの扶養家族控除は同額とし、教育控除、医療費控除、勤労学生控除、老人加算等の特殊な控除項目は無視します。

又、地震保険料は普及率の問題で、旧長期損害保険料は条件付のため無視します。

課税所得は、給与所得控除後の金額と事業収入の合計額から各種控除額を差し引いた金額です。

通算所得は課税所得と不動産所得の合計金額です。

相続税計算

- 例■ 不動産等の評価財産の課税評価額が4億8千万円、生命保険金の受取額が2千万円、現金・預金等が4千万円、ローン等の債務及び葬式費用等が3千万円である場合の相続税を計算します。
相続人は妻と2人の子供の3人です。(評価額を計算するには専門知識を要します。必ず概算計算である旨を伝えてください。)

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F4	メニュー呼出
Menu No. (21~29) ?	21 ENTER	メニュー選択
不動産等評価財産 ? 0万円	48000 ENTER	注1
生命保険金 ? 0万円	2000 ENTER	控除前
退職手当金 ? 0万円	0 ENTER	
現金・預金等 ? 0万円	4000 ENTER	
債務葬式費用 ? 0万円	3000 ENTER	
法定相続人 ? 0人	3 ENTER	
配偶者 有=1 無=0 ? 1	1 ENTER	注2 表示内容通りに
子供 有=1 無=0 ? 1	1 ENTER	つき ENTER のみで可

②【計算結果】

正味遺産総額	49,500万円		
相続税総額	11,500.0万円	ENTER	注3,4,5
法定相続通りの税額	5,750.0万円		

③【妻の相続財産入力処理】

配偶者の相続財産 ? 0万円	30000 ENTER	注6
----------------	---------------------------	----

④【計算結果】

相続財産	30,000万円		
相続税	1,219.6万円	ENTER	注6

⑤【長男の相続財産入力処理】

各人の相続財産 ? 0万円	10000 ENTER	注6
---------------	---------------------------	----

⑥【計算結果】

相続財産	10,000万円		
相続税	2,323.2万円	ENTER	

⑦【次男の相続財産入力処理】

各人の相続財産 ? 0万円	9500 ENTER	注6
---------------	--------------------------	----

⑧【計算結果】

相続財産	9,500万円		
相続税	2,207.0万円	ENTER	

注1. 土地、家屋、ゴルフ会員権等、有価証券等評価財産の合計額を入力。

注2. 本プログラムで対応している相続パターンは下記のとおりです。

	配偶者	子供	親	兄弟
1	◆	全額	×	×
2	2分の1	2分の1	×	×
3	全額	◆	◆	◆
4	3分の2	◆	3分の1	×
5	◆	◆	全額	×
6	4分の3	◆	◆	4分の1
7	◆	◆	◆	全額

・◆は死亡
 ・×は相続対象外
 代襲相続は考慮していません。

注3. 正味遺産総額……………基礎控除前の課税価格です。

注4. 配偶者の税額軽減適用前の相続税総額

注5. 配偶者が上記注2の法定相続パターンで相続した場合は、配偶者は無税になります。この場合の配偶者税額軽減適用後の相続税合計額。(なお、ここでは配偶者の相続財産が1億6千万円までは無税の配偶者控除は考慮されておりません。)

注6. 正味遺産総額4億9,500万円中、配偶者が3億円、長男が1億円、次男が9,500万円相続する場合の相続税を計算します。

注7. 未成年者控除や障害者控除は考慮していません。

贈与税計算

■例■ 親から20歳以上の子が1700万円の住宅取得資金の贈与を受けた場合の計算。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F4	メニュー呼出
Menu No. (21~29) ?	22 ENTER	メニュー選択
一般贈与 =1 一般住宅資金 =2 相続時精算課税 ? 一般 =3 住宅資金 =4	2 ENTER	注
一般住宅資金 ? 0万円	1700 ENTER	

②【計算結果】

一般住宅資金 贈与税	112.0万円	
------------	---------	--

注1. 本計算は一般住宅の場合であり、省エネルギー性・耐震性を備えた住宅、東日本大震災の被災者の場合は考慮していません。

注2. 一般贈与：基礎控除額110万円までは非課税。

一般住宅資金：基礎控除額110万円＋住宅資金贈与非課税枠（平成24年は1000万円、平成25年は700万円）まで非課税。ただし、贈与を受ける人の合計所得金額が2000万円以下であることが要件。

相続時精算課税

一般：適用対象者：贈与者は65歳以上の親、受贈者は20歳以上の子。

贈与税の計算：累計額2500万円までは非課税。

相続税の計算：贈与財産と相続財産を合算して相続税を計算。

住宅資金：適用対象者：贈与者は親(年齢制限無し)、受贈者は20歳以上の子。

贈与税の計算：累計額3500万円（平成25年は3200万円）までは注2の通り非課税。

相続税の計算：贈与財産と相続財産を合算して相続税を計算。

譲渡所得税計算

■例■ 田中さんは、昭和25年に取得した土地を次のように売却しました。譲渡所得にかかる税金を計算します。

- ◆ 土地の売却代金(譲渡価格) 4,500万円 譲渡費用 200万円
土地の取得費(昭和25年購入) 20万円 その他の課税所得 900万円

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F4	メニュー呼出
Menu No. (21~29) ?	23 ENTER	メニュー選択
長期譲渡=1 短期譲渡=2 ?	1 ENTER	注1
一般長期=1 10年居住=2 優良宅地=3 ?	1 ENTER	
譲渡収入金額 ? 0万円	4500 ENTER	
取得費 ? 0万円	20 ENTER	注2
譲渡費用 ? 0万円	200 ENTER	
特別控除額 ? 0万円	ENTER	注3

②【計算結果】

譲渡税総額	815.0万円	注4
(所得税)	611.2万円	
(住民税)	203.7万円	

注1. 一般長期……一般長期譲渡

10年居住……10年超所有の居住用財産の譲渡

優良宅地……優良住宅地の造成等譲渡

注2. 取得費が不明(入力は0万円)の場合や、譲渡収入金額の5%未満の場合は譲渡収入金額の5%(概算取得費)を取得費として計算します。

注3. 10年居住の場合は3000万円が参考表示されます。

表示金額以外のときは所定の控除額を入力してください。

注4. 総合課税となる譲渡所得はないものとして計算します。

退職所得税計算

■例■ 勤続年数38年で退職金3,000万円の場合の税額を計算します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F4	メニュー呼出
Menu No. (21~29) ?	24 ENTER	メニュー選択
退職金 ? 0万円	3000 ENTER	
勤続年数 ? 0年	38 ENTER	注1

②【計算結果】

退職所得税	93.55万円	
（所得税）	51.25万円	注2
（住民税）	42.30万円	

注1. 勤続年数に1年未満の端数があるときは、その端数を切り上げて1年とします。

注2. 退職金にかかる住民税については、通常の計算で算出された税額から更にその10%相当額が控除されることになっているため、ここではそれを含めた計算を行っています（平成24年12月31日まで。平成25年1月1日以後は10%税額控除が廃止されます）。

注3. 本計算方法は勤続年数と役職等にかかわらず、
 $(\text{退職手当等} - \text{退職所得控除}) \times 1 / 2$
 で計算しています。

不動産取得税計算

■例■ 面積200㎡、1㎡当たりの評価額17万円の土地（評価額3,400万円）を購入し、評価額2,000万円の住宅（床面積90㎡）を新築しました。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F4	メニュー呼出
Menu No. (21~29) ?	25 ENTER	メニュー選択
土地評価額(調整後) ? 0万円	1700 ENTER	注1
区分 ? 0 住宅以外=0 住宅用=1 特例住宅=2	2 ENTER	注2
土地面積 ? 0㎡	200 ENTER	特例住宅のみ
床面積 ? 0㎡	90 ENTER	特例住宅のみ
建物評価額 ? 0万円	2000 ENTER	
区分 ? 0 住宅以外=0 住宅用=1 特例住宅=2	2 ENTER	注2
建築年月日 ? 000000	191003 ENTER	注3 特例住宅のみ

②【計算結果】

土地	5.1万円		
建物	24.0万円		
合計	29.1万円		

注1. 土地の固定資産税評価額の2分の1に減額した金額を課税標準額として計算しますから、入力する評価額には調整した金額を打ち込んでください。

注2. [建物の住宅用適用要件] (区分1) 住宅用(別荘以外)

[建物の特例住宅用適用要件] (区分2)

- ①家屋の床面積が50㎡以上240㎡以下(賃貸用共同住宅は40㎡以上240㎡以下)
- ②中古住宅は、自己の居住用で鉄骨・鉄筋コンクリート造りの住宅は取得日前25年以内に、木造その他の住宅は取得日前20年以内に新築されたもの

[土地の住宅用適用要件] (区分1)

土地を取得して3年以内にその上に住宅(別荘を除く)を取得する

[土地の特例住宅用適用要件] (区分2)

上記①②を満たす建物の敷地(土地の取得後住宅取得3年以内なら可)

注3. 昭和は1桁目に1をつけて入力 ex. 昭和62年10月3日→1621003 **ENTER**

登録免許税計算

■例■ 固定資産税評価額3,000万円の土地と、2,400万円の建物の所有権の保存登記と移転登記の登録免許税を計算します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F4	メニュー呼出
Menu No. (21~29) ?	26 ENTER	メニュー選択
土地評価額? 0万円	3000 ENTER	
建物評価額 ? 0万円	2400 ENTER	
区分 ? 0 特例住宅用=1 上記以外 =0	1 ENTER	注1

②【計算結果】

[保存登記]		
建物	3.6万円	注2
[移転登記]		注3
土地	39.0万円	
建物	7.2万円	
合計	46.2万円	

注1. 特例住宅用適用物件は1を非適用物件は0を打ち込んでください。

[特例住宅用適用要件]

- ① 家屋の床面積は50㎡以上
- ② 新築住宅、中古住宅どちらでもよいが中古住宅の場合は
鉄骨、鉄筋コンクリート造り……建築後25年以内 } のもの
木造、その他 ……建築後20年以内
- ③ 新築又は取得後1年以内に登記すること
- ④ 登記の申請書にその家屋所在の市町村長等がこれらの家屋に該当する旨の証明をした書類を添付すること

注2. 国内での土地はおおかた登記済みで、民間での保存登記は実務上ほとんどありません。

注3. 所有権の移転登記の登録免許税は売買等(相続・法人の合併・共有物の分割・遺贈・贈与等を除く)のみ計算します。

複利計算【受取元利金】(終価係数)

■例■ 100万円をスーパー定期(3年もの)で3年間預入した場合の受取元利金を計算します。金利は年利率 2.68%で半年複利です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 4	メニュー呼出
Menu No. (21~29) ?	27 ENTER	メニュー選択
受取元利金 =1 預入れ元金=2 金利逆算 =3 期間逆算 =4 ?	1 ENTER	
預入れ元金 ? 0万円	100 ENTER	
年利率 ? 0%	2.68 ENTER	
預入期間 ? 0年 0ヶ月	3 ENTER ENTER	注 1
複利サイクル ? 0ヶ月	6 ENTER	1~4, 6, 12 のみ

②【計算結果】

元利合計	1,083,142円		
20% 税引後	1,066,513円	ENTER	注 2
平均利回り	2.771%		
20% 税引後	2.217%		

注 1. 表示内容と同じ場合は、**ENTER** のみでも可。

注 2. 20%税引き後の元利合計は、預入元金に計算結果の受取利息の80%を加算した金額です。各計算過程で20%税率を考慮させる場合は、20%控除後の年利率を入力してください。本例の場合は、2.144 **ENTER**

なお、20%控除後の年利率を入力した場合に表示される元利合計は税引き後の元利合計になるため、下段表示の20%税引後の金額は無意味なものになります。

注 3. 本例は半年複利で計算しており、実際のスーパー定期(3年もの)の受取元利金とは多少異なります。

複利計算【預入元金】（現価係数）

■例■ スーパー定期（3ヵ月もの）で3年間預入して100万円受取るようにするにはいくら預け入れる必要があるか計算します。金利は年利率2.68%です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 4	メニュー呼出
Menu No. (21~29) ?	27 ENTER	メニュー選択
受取元利金=1 預入れ元金=2 ? 金利逆算 =3 期間逆算 =4	2 ENTER	
受取り元利合計 ? 0万円	100 ENTER	
年利率 ? 0%	2.68 ENTER	
預入期間 ? 0年 0ヶ月	3 ENTER ENTER	
複利サイクル ? 0ヶ月	3 ENTER	1~4, 6, 12のみ

②【計算結果】

預入元金	922,995円	ENTER	
------	----------	--------------	--

複利計算 [金利逆算]

■例■ 100万円をスーパー定期(3年もの)で9年間預入して、税引前元利金を120万円にする場合の年利率は何%か、半年複利で計算します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 4	
Menu No. (21~29) ?	27 ENTER	
受取元利金=1 預入れ元金=2 ? 金利逆算 =3 期間逆算 =4	3 ENTER	
預入れ元金 ? 0万円	100 ENTER	
受取り元利合計 ? 0万円	120 ENTER	
預入期間 ? 0年 0ヶ月	9 ENTER ENTER	
複利サイクル ? 0ヶ月	6 ENTER	1~4, 6, 12

②【計算結果】

年利率	2.03608%	ENTER	
-----	----------	--------------	--

複利計算 [期間逆算]

■例■ 100万円を年利率2.45%で運用して受取元利金が150万円になるようにするには1年複利で何年かかるか計算します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 4	
Menu No. (21~29) ?	27 ENTER	
受取元利金=1 預入れ元金=2 ? 金利逆算 =3 期間逆算 =4	4 ENTER	
預入れ元金 ? 0万円	100 ENTER	
受取り元利合計 ? 0万円	150 ENTER	
年利率 ? 0%	2.45 ENTER	
複利サイクル ? 0ヶ月	12 ENTER	1~4, 6, 12

②【計算結果】

預入期間	17年 0ヶ月		
------	---------	--	--

複利年金【積立額】（減債基金係数）

■例■ 毎月同額を積み立てて10年後に1,000万円にしたいと思います。
年利率2.5%（1ヶ月複利）なら毎月いくら積み立てでしょうか。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 4	
Menu No. (21~29) ?	28 ENTER	
積み立て額=1 年金額 =2 ? 受取元利金=3 預入れ元金=4	1 ENTER	
受取り元利合計 ? 0万円	1000 ENTER	
年利率 ? 0%	2.5 ENTER	
積立期間 ? 0年 0ヶ月	10 ENTER ENTER	
複利サイクル ? 0ヶ月	1 ENTER	

②【計算結果】

毎月の積立額	73,436円	ENTER	
--------	---------	--------------	--

複利年金【年金額】（資本回収係数）

■例■ 1,000万円を年利率4%半年複利で運用しながら、10年間半年毎の年金として受取る場合の毎回の年金額を計算します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 4	
Menu No. (21~29) ?	28 ENTER	
積み立て額=1 年金額 =2 ? 受取元利金=3 預入れ元金=4	2 ENTER	
預入れ元金 ? 0万円	1000 ENTER	
年利率 ? 0%	4 ENTER	
年金受取り期間 ? 0年 0ヶ月	10 ENTER ENTER	
複利サイクル ? 0ヶ月	6 ENTER	1~4, 6, 12のみ

②【計算結果】

6ヶ月毎の年金額	611,567円		
----------	----------	--	--

複利年金【受取元利金】（年金終価係数）

■例■ 年利率2.2%, 1ヶ月複利で毎月5万円積立ると10年後の受取元利金は？

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 4	
Menu No. (21~29) ?	28 ENTER	
積み立て額=1 年金額 =2 ? 受取元利金=3 預入れ元金=4	3 ENTER	
複利サイクル ? 0ヶ月	1 ENTER	
毎月の積立額 ? 0万円	5 ENTER	
年利率 ? 0%	2.2 ENTER	
積立期間 ? 0年 0ヶ月	10 ENTER ENTER	

②【計算結果】

期末積立	6,704,339 円		注
期首積立	6,716,630 円		

注. 期末積立(受取)とは、例えば1年複利の場合、その年の最後に積立てる(受取る)ものとして、又、期首積立(受取)とは、その年の初めに積立てる(受取る)ものとして計算したものです。

複利年金【預入元金】（年金現価係数）

■例■ 10年間毎月10万円の年金を受け取る場合、いくら預入元金が必要か計算します。年利率1.2%で1ヶ月複利で運用します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 4	
Menu No. (21~29) ?	28 ENTER	
積み立て額=1 年金額 =2 ? 受取元利金=3 預入れ元金=4	4 ENTER	
複利サイクル ? 0ヶ月	1 ENTER	
毎月の受取年金 ? 0万円	10 ENTER	
年利率 ? 0%	1.2 ENTER	
年金受取り期間 ? 0年 0ヶ月	10 ENTER ENTER	

②【計算結果】

期末受取	11,302,638 円		上記注参照
期首受取	11,313,940 円		

相続財産完全防衛額計算

『相続財産完全防衛額』とは、相続財産を守るのに必要な生命保険金額、つまり死亡保険金で相続税を相殺する場合の「死亡保険金額＝相続税額」のことです。

■例■ 遺産の総額2億3千万円を配偶者と子供2人で相続する場合の完全防衛額を計算します。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 4	メニュー呼出
Menu No. (21~29) ?	29 ENTER	
正味遺産総額 ? 0万円	23000 ENTER	注1
法定相続人 ? 0人	3 ENTER	
配偶者 有=1 無=0 ? 1	ENTER	
子供 有=1 無=0 ? 1	ENTER	

②【計算結果】

相続税をカバーできる 必要保険金 1,325万円		注2
---	--	----

注1. 生命保険金以外の正味遺産総額（課税価格）です。

注2. 法定相続分どおり相続したものとして計算しています。

公的年金使用上の留意点

●公的年金の受給資格のあることが条件です●

公的年金の計算は、年金受給資格があることを前提に計算しています。

公的年金の受給資格は、①厚生年金20年，共済組合20年，厚生年金と共済組合の合計で20年以上の加入期間があること．②厚生年金で男子40歳，女子35歳，船員，坑内員35歳で15年以上の加入期間があること．③公的年金の合計が25年以上あることのいずれかに該当すれば取得できます。

(注) 昭和5年4月2日～昭和22年4月1日生まれの人の場合。それ以降に生まれた人は要件が違ってきます。

(下表参照)

受給資格があつてはじめて年金計算ができるわけですから、相談に当たっては、お客さまに年金受給資格があることを確認してください。

●計算結果はあくまで概算です●

年金額の計算は、あくまで概算であることをお客さまに告げてください。

特に厚生年金の場合、平均標準報酬月額が不明の場合が多く、その場合一般的な例として 370,000円をもとに計算できるようになっています。これは便宜的に行っているわけですから、その旨を伝えてください。

また、厚生年金の計算結果は従前額保障の計算式で計算したものです。

国民年金等については、奥さまの年金加入期間が不明な場合が多いと思います。この場合も便宜的に計算して結果を出しています。

年金受給に必要な加入年数

生年月日	必要な加入年数		
	①	②	③
	厚生年金 共済年金 の期間	中年以後 の厚生年 金の期間	国民年金 と合わせ た期間
大正15年4月2日～昭和 2年4月1日	20年	15年	21年
昭和 2年4月2日～昭和 3年4月1日	〃	〃	22年
昭和 3年4月2日～昭和 4年4月1日	〃	〃	23年
昭和 4年4月2日～昭和 5年4月1日	〃	〃	24年
昭和 5年4月2日～昭和22年4月1日	〃	〃	25年
昭和22年4月2日～昭和27年4月1日	〃	16～20年	〃
昭和27年4月2日～昭和31年4月1日	21～24年	—	〃
昭和31年4月2日～	〃	—	〃

国民年金計算

- 例■ 昭和21年10月2日生まれの自営業者です。国民年金には昭和38年4月から60歳になるまで(38年6ヶ月)加入しました。保険料を免除された月はありません。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 5	
Menu No. (30~36) ?	30 ENTER	
誕生日 ? 000000	211002 ENTER	注
保険料納付期間 ? 0年 0ヶ月	38 ENTER 6 ENTER	
保険料全額免除期間?	ENTER ENTER	
保険料半額免除期間?	ENTER ENTER	
保険料3/4免除期間 ?	ENTER ENTER	
保険料1/4免除期間 ?	ENTER ENTER	
付加保険料納付期間?	ENTER ENTER	

②【計算結果】

65歳からの年金	757,000円		
繰上	60歳	529,900円	
上げ	61歳	575,300円	
支	62歳	620,700円	ENTER
給	63歳	666,200円	
	64歳	711,600円	
繰下	66歳	820,600円	
上げ	67歳	884,200円	
支	68歳	947,800円	ENTER
給	69歳	1,011,400円	
	70歳	1,074,900円	

注. 計算対象は、誕生日が昭和元年4月2日以降の人です。(厚生年金も同様)

部分年金・老齢厚生年金計算

■例■ 昭和26年4月2日生まれのAさんの平成15年3月までの被保険者期間は28年6ヶ月で平均報酬月額は37万円、平成15年4月以降の被保険者期間は1年6ヶ月で平均報酬額は50万円です。奥さんは28年4月2日生まれで平成15年3月までの被保険者期間は3年、平均報酬月額は36万円でした。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 5	
Menu No. (30~36) ?	31 ENTER	
夫の誕生日 ? 000000	260402 ENTER	
妻の誕生日 ? 000000	280402 ENTER	注 1
夫:平成15年3月までの被保険者期間 ? 0年 0ヶ月	28 ENTER 6 ENTER	
平均報酬月額 ? 370,000円	ENTER	
夫:平成15年4月以後の被保険者期間 ? 0年 0ヶ月	6 ENTER 6 ENTER	
平均報酬額 ? 370,000円	500000 ENTER	
◆◆国民年金◆◆ 保険料納付期間 ? 0年 0ヶ月	ENTER ENTER	
妻:平成15年3月までの被保険者期間 ? 0年 0ヶ月	3 ENTER 0 ENTER	注 2
平均報酬月額 ? 370,000円	360000 ENTER	
妻:平成15年4月以後の被保険者期間 ? 0年 0ヶ月	ENTER ENTER	

②【計算結果】

夫が60歳からの 部分年金 1,183,800円	ENTER	
夫が65歳からの <夫の年金> 1,872,000円 (内 基礎年金) 688,200円 <妻の年金> 157,000円	ENTER	()内は内訳 注 3

妻が65歳からの〈妻の年金〉 692,300円 (内 厚生年金) 98,000円 (内 基礎年金) 530,900円 (内 振替加算) 63,400円	ENTER	
妻が65歳からの 〈夫の年金〉 1,872,000円 〈妻の年金〉 692,300円 ※合計※ 2,564,300円	ENTER	
夫死亡後の〈妻の年金〉 1,541,100円 (内 基礎年金) 594,300円 (内 遺族厚生年金) 887,900円 (内 経過的寡婦加算額) 59,000円	ENTER	

注1. 妻がいないときは 0 ENTER

注2. 妻の加入期間が不明の場合は 0 ENTER 0 ENTER この場合妻の国民年金加入期間を昭和61年4月以後60歳になるまでとして計算します。

注3. 年金額の計算については、「従前額保障」の計算式で計算しています。

在職老齢年金計算

■例■ Aさんは、60歳で定年退職後再雇用されました。退職していればもらえる本来の年金月額が10万円ですが、60歳以後の賃金（総報酬月額）は20万円となります。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 5	メニュー呼出
Menu No. (30~36) ?	32 ENTER	メニュー選択
年金月額 ? 0.0万円	10 ENTER	注1
総報酬月額 ? 0万円	20 ENTER	注2

②【計算結果】 ③【入力処理】

在職年金額 90,000円 調整計算 YES or NO ?	YES	注3
60歳時の賃金月額（万円） ?	40 ENTER	注4

④【計算結果】

調整後在職年金 78,000円 60歳再雇用後の受取額 308,000円 調整計算 YES or NO ?		注5
---	--	----

注1. ここでいう年金月額とは、基本年金額（定額部分＋報酬比例部分）のことです。基本年金額には加給年金は含まれませんので注意してください。

なお、計算の結果、在職老齢年金額が求められれば加給年金は減額されずに支給されます。

注2. 60～64歳の人で在職している場合、本来もらえる特別支給の老齢厚生年金が給与（総報酬月額）の額によって一定の計算方法により減額（又は全額支給停止）されます。

注3. 雇用保険の高年齢雇用継続給付を受給している間は、在職老齢年金の一部がカットされます。（平成15年5月1日以降年金の受給権が生じた人に対応しています）

注4. ボーナスを除いた賃金月額です。

高年齢雇用継続給付計算

■例■ Aさんは、60歳で定年退職後再雇用されました。60歳到達時の賃金月額は43万円でしたが、60歳以後の賃金月額は30万円となります。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 5	メニュー呼出
Menu No. (30~36) ?	33 ENTER	メニュー選択
60歳時の賃金月額 ? 0万円	43 ENTER	注 2, 3
支給対象月の賃金 ? 0万円	30 ENTER	

②【計算結果】

給付金（月額）	14,705円	注 4
---------	---------	-----

注 1. 60歳以上65歳未満の雇用保険の被保険者であって、被保険者期間が5年以上ある方が、60歳時点より賃金が75%未満に低下した場合「高年齢雇用継続給付」が支給されます。

注 2. ボーナスを除いた賃金月額。
平成23年8月以降の限度額は451,800円となります。

注 3. 支給限度額は毎年8月に改定になります。変更処理は54頁参照。

注 4. 給付額として算定された額が1,600円以下の場合、給付金は支給されません。

アドオン⇔実質年率換算

■例■ 下記アドオン手数料率と実質年率の計算をします。

アドオン手数料率 11.26% 12回払い
 21.33% 16回払いの実質年率
 実質年率 10.15% 12回払いのアドオン手数料率

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F5	メニュー呼出
Menu No. (30~36) ?	34 ENTER	メニュー選択
【度量衡換算】 長さ=1 面積=2 重さ=3 容積=4 ? 【アドオン：実質年率】=5	5 ENTER	
アドオン⇒実質年率=1 実質年率⇒アドオン=2 ?	1 ENTER	
アドオン ? 0.000%	11.26 ENTER	注
支払回数 ? 0回	12 ENTER	

②【計算結果】

実質年率 20.172%	ENTER	
--------------	--------------	--

③【入力処理】

アドオン ? 11.260%	21.33 ENTER	
支払回数 ? 12回	16 ENTER	

④【計算結果】

実質年率 28.450%	ENTER	
--------------	--------------	--

⑤【入力処理】

アドオン ? 21.330%	0 ENTER	
実質年率 ? 0.000%	10.15 ENTER	注1
支払回数 ? 16回	12 ENTER	

⑥【計算結果】

アドオン 5.583%	ENTER	注2
-------------	--------------	----

注1. アドオン⇒実質年率は計算式が無いので、ニュートン方による近似値です。

注2. 本メニューの終了

他のメニューに移る場合 **F1**～**F5** を押してください。

操作を終了させる場合は **ON/OFF** を押し電源を切ってください。

バイオリズム調べ

■例■ 誕生日：昭和20年8月16日 調査日：平成21年9月6日。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F5	メニュー呼出
Menu No. (30~36) ?	35 ENTER	メニュー選択
誕生日 ? 0	200816 ENTER	注1
調査日 ? *****	210906 ENTER	注2

②【計算結果】

<p>誕生日 昭和200816 --<平成21年9月>--</p> <p>—— 身体 ——— 感情 ——— 知性</p> <p>(+) 10 20 30</p> <p>(-) (注)実際の画面と異なります</p>	ENTER	<p>横軸より上(+)部分が高調(活動)期、下(-)部分が低調(休息)期で、横軸と接する日が注意日です。</p> <p>▼が調査対象日です。</p> <p>注意日は二日にわたることがあります。</p>
<p>19450816(木)から 20090906(日)まで 23,397日</p> <p>身体リズム ▲高調期▲ スタミナ充実して行動的。体力の伴う仕事、旅行・スポーツ等に適す。ただし体力過信の暴走に注意。</p>	ENTER	
<p>感情リズム ▼低調期▼ 気力減退。すべてに消極的になりやすい。協調性に欠けるので対人関係は慎重に。勝負事には深入りしない。</p>	ENTER	
<p>知性リズム ■注意日■ 気力が衰え考えがまとまらない。注意力散漫・集中力欠如によるミスやポカを起こしやすい。重要な契約は別の日に！</p>		

注1. 定数処理(55頁)で誕生日を登録すると初期値として表示されます。

注2. 《ご購入時の設定》(1頁)での当日が初期値として表示されます。

注3. バイオリズムは各々の曲線だけで判断するものではありません。

三つのリズムが作用しあってその日のリズムが構成されます。

注4. バイオリズムはあくまで統計を元にした学説ですから、誰にでもすべてに当てはまるとは限りません。

年間元利返済額の割合変更

年収からの借入限度額計算には、銀行（融資先）毎に定められている『年間元利返済額の割合』が前提条件として必要です。頻繁に取り扱う銀行の割合は、本プログラムで定数として登録しておくことで便利です。

【例】 K銀行元利返済額の割合は下表の通りです。

区分	税込年収	元利返済額の割合
1	150万円以下	年収の25%以内
2	151万円から200万円以下	〃 30%以内
3	201万円から400万円以下	〃 35%以内
4	401万円超	〃 40%以内

【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F5	
Menu No. (30~36) ?	36 ENTER	
定数処理=1 公庫併貸年金=2 協会転貸年金=3 ?	1 ENTER	
年間元利返済割合=1 保証料変更, 確認=2, 3 ローン手数料 =4 支給限度額 =5 ? 誕生日:ハイリスム =6 答表示時ビープ音 =7	1 ENTER	
年収区分 (1~5) ?	4 ENTER	
1) ? 0以下 0%	150 ENTER	
1) 150以下 ? 0%	25 ENTER	
2) ? 0以下 0%	200 ENTER	
2) 200以下 ? 0%	30 ENTER	
3) ? 0以下 0%	400 ENTER	
3) 400以下 ? 0%	35 ENTER	
4) 400以上 ? 0%	40 ENTER	

ローン手数料変更

ローン手数料を 31,500円から 40,000円に変更します。

【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F5	
Menu No. (30~36) ?	36 ENTER	
定数処理=1 公庫併貸年金=2 協会転貸年金=3 ?	1 ENTER	
年間元利返済割合=1 保証料変更, 確認=2, 3 ローン手数料 =4 支給限度額 =5 ? 誕生日:ハイリスム =6 答表示時ビープ音 =7	4 ENTER	
ローン手数料 ? 31,500円	40000 ENTER	

保証料変更

■例■ 2年目の保証料1,942円を2,200円に変更します。

【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F5	
Menu No. (30~36) ?	36 ENTER	
定数処理=1 公庫併貸年金=2 協会転貸年金=3 ?	1 ENTER	
年間元利返済割合=1 保証料変更, 確認=2, 3 ローン手数料 =4 支給限度額 =5 ? 誕生日:ハ イリス ム =6 答表示時ビ-フ音 =7	2 ENTER	
1年 ? 1,016円	ENTER	
2年 ? 1,942円	2200 ENTER	
3年 ? 2,844円	ENTER	

以下、変更の無い年は **ENTER** のみ押します。必ず最終年まで押し完結させて確認画面で確認してください。

※ 31年以上のローンが無いときは、30年の保証料を35年まで入力してください。

保証料確認

【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F5	
Menu No. (30~36) ?	36 ENTER	
定数処理=1 公庫併貸年金=2 協会転貸年金=3 ?	1 ENTER	
年間元利返済割合=1 保証料変更, 確認=2, 3 ローン手数料 =4 支給限度額 =5 ? 誕生日:ハ イリス ム =6 答表示時ビ-フ音 =7	3 ENTER	
1年 1,016円 2年 2,200円 3年 2,844円 4年 3,724円 5年 4,580円 6年 5,426円 7年 6,240円	ENTER	
8年 7,031円 9年 7,799円 10年 8,544円 11年 9,302円 12年 10,006円 13年 10,688円 14年 11,345円	ENTER	以下省略

支給限度額

■例■ 高年齢雇用継続給付支給限度額を357,000円から344,209円に変更します。

【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F5	
Menu No. (30~36) ?	36 ENTER	
定数処理=1 公庫併貸年金=5 協会転貸年金=6 ?	1 ENTER	
年間元利返済割合=1 保証料変更, 確認=2, 3 ローン手数料 =4 支給限度額 =5 ? 誕生日:バイオリズム =6 答表示時ビープ音 =7	5 ENTER	
支給限度額 ? 357,000円	344209 ENTER	

バイオリズム用誕生日

■例■ 本機所有者Aさんの誕生日昭和28年7月19日を登録します。

【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F5	
Menu No. (30~36) ?	36 ENTER	
定数処理=1 公庫併貸年金=5 協会転貸年金=6 ?	1 ENTER	
年間元利返済割合=1 保証料変更, 確認=2, 3 ローン手数料 =4 支給限度額 =5 ? 誕生日:バイオリズム =6 答表示時ビープ音 =7	6 ENTER	
バイオリズム用誕生日 ? 0	280719 ENTER	

答表示時ビープ音

■例■ 計算結果表示時に発生するビープ音を中止します。

【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F5	
Menu No. (30~36) ?	36 ENTER	
定数処理=1 公庫併貸年金=5 協会転貸年金=6 ?	1 ENTER	
年間元利返済割合=1 保証料変更, 確認=2, 3 ローン手数料 =4 支給限度額 =5 ? 誕生日:バイオリズム =6 答表示時ビープ音 =7	7 ENTER	
ビープ音回数 (0~2) ? 2回	0 ENTER	

公庫併せ貸し年金返済額計算<元利均等>

年金住宅融資は平成17年1月末で廃止されました。
新規取り扱いはありませんのでご注意ください。

■例■ 公庫併せ貸し年金で600万円(内ボーナス分240万円)の融資を受けたときの返済額を計算します。

当初10年間の金利は年3.3% 11年目以降4.0%で、借入期間は35年です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 5	
Menu No. (30~36) ?	36 ENTER	
定数処理=1 公庫併貸年金=2 協会転貸年金=3 ?	2 ENTER	
通常融資 ? 0万円	600 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	240 ENTER	
期間 ? 0年	35 ENTER	
①年利率 ? 0%	3.3 ENTER	35年固定 金利は② 年利率に 0を入力
②年利率 ? 0%	4.0 ENTER	
特別加算 ? 0万円	0 ENTER	

②【計算結果】

通常融資		
1-10年毎月返済額	14,464円	注
1-10年ボーナス月加算額	58,068円	
11年以降毎月返済額	15,582円	
11年以降ボーナス月加算額	62,583円	

注. 特別加算額があるときは、通常融資分と特別加算分を表示した後、通常融資分と特別加算分の合計返済額を表示します。

協会転貸年金返済額計算<元利均等>

年金住宅融資は平成17年1月末で廃止されました。
新規取り扱いはありませんのでご注意ください。

- 例■ 平成15年6月25日に全国社会保険共済会より600万円(内ボーナス分240万円)を元利均等方式で借りた場合の返済額を計算します。当初金利は年2.6%、10年目以降は3.3%で返済期間は25年です。

①【入力処理】

画面表示	キー操作	備考
	F 5	
Menu No. (30~36) ?	36 ENTER	
定数処理=1 公庫併貸年金=2 協会転貸年金=3 ?	3 ENTER	
通常融資 ? 0万円	600 ENTER	
内ボーナス分 ? 0万円	240 ENTER	
期間 ? 0年	25 ENTER	
①年利率 ? 0%	2.6 ENTER	
②年利率 ? 0%	3.3 ENTER	
特別加算 ? 0万円	0 ENTER	
融資日 ? 000000	150625 ENTER	

②【計算結果】

通常融資		
1回目毎月返済額	24,711円	ENTER
1回目ボーナス月加算額	49,424円	
通常融資		
7ヶ月以降毎月返済額	16,394円	
7ヶ月以降ボーナス月加算額	65,583円	ENTER
11年以降毎月返済額	17,229円	
11年以降ボーナス月加算額	68,925円	

注1. 半年賦返済の場合は、通常返済(特別加算)と内ボーナス分を同額で入力してください。

注2. 本機は全国社会保険共済会の計算式を採用しております。従ってボーナス月は1月と8月で計算します。
転貸年金業者により端数処理の関係で微差が生じる場合があります。

注3. 特別加算額があるときは、通常融資分と特別加算分を表示した後通常融資分と特別加算分の合計返済額を表示します。

注4. 元金均等方式は対応していません。

《異常が発生した場合の処理》

すべてのキーの機能が働かなくなるなどの異常が発生したときは本体裏面のリセットスイッチを押してください。



リセットスイッチはボールペンなどで押してください。
先の折れやすいものや、針など先のとがったものは使用しないでください。

電池交換して画面が表示されない場合や、プログラムが迷走するなどのトラブルが起きた場合は次の操作を行ってください。

- ① **ON/OFF** を押したまま本体裏面のリセットスイッチを押す。
- ② リセットスイッチを離して数秒たってから **ON/OFF** を離す。
- ③ “初期化しますか？”と表示されたら、**NO** を押してください。
※ **YES** を押すとプログラムが消去されますので押さないでください。

症状が改善しないときは電池を取り外し、購入先にお問い合わせください。

お願い

- ズボンのポケットにいれたり、落としたり、強いショックを与えないでください。業務用バッグにいれたため、書類等の下敷きになり液晶画面を破損するといった事故が多発しております。液晶画面の修理はご購入後1年以内であっても有料になりますのでご注意ください。

- 日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。変形や故障の原因になります。

※ 本書の一部あるいは全部について、株式会社テクノリードからの文書による事前の許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、複製することは禁じます。